



山鹿市民医療センター
『第7回 市民公開講座』



山鹿でできる 胆道がん・膵がんの診断と治療

入場無料

事前の申込不要

〔日時〕
令和6年 **10月5日** 日

〔開場〕13:30 〔開演〕14:00 〔閉会〕16:00(予定) ※健康チェック・相談(質問)コーナーは16:30終了予定

〔会場〕山鹿市民交流センター 文化ホール



ご挨拶：山鹿市長 早田 順一 鹿本医師会会長 幸村 克典

講演

進行：山鹿市民医療センター 看護部長 松本 和美

I. がん総合的診療チームの紹介

① 健康診断とがん

山鹿市民医療センター
地域健診室室長 高木 茂

② がん相談支援センター

山鹿市民医療センター
がん相談支援センター 福島 大志

③ 積極的ながんリハビリ

山鹿市民医療センター
理学療法士長 上野 高弘

II. 胆道がん・膵がんを知ろう!

疫学、予防から早期発見まで

山鹿市民医療センター
院長 石河 隆敏

III. 胆道がん・膵がんの診断・治療

① 内視鏡診断と治療

山鹿市民医療センター
消化器内科長 本原 利彦

② 外科治療

山鹿市民医療センター
外科長 増田 稔郎

③ 最新の薬物療法

山鹿市民医療センター
腫瘍内科長 宮本 英明

IV. 胆道がん・膵がんの緩和ケア

緩和ケア病棟のご紹介

山鹿市民医療センター
緩和ケア病棟師長 江藤 千鶴

挨拶(まとめ)：病院事業管理者 別府 透

健康チェック・相談(質問)コーナー

血圧測定・推定野菜摂取量
や血管年齢などの健康
チェックと健康相談を開演
前と閉会後の時間を利用し
て行います。

※16:30終了予定



主催：山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 電話(代表).0968-44-2185 FAX.0968-44-2420

共催：山鹿市 後援：熊本県山鹿保健所、鹿本医師会、山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会 <http://yamaga-medical-center.jp/>

I-① 健康診断とがん

第7回市民公開講座

山鹿市民医療センター 健診室長 高木 茂

令和6年10月5日(土曜日)

1. 健康診断の目的

予防

早期発見

自覚症状のない病気の発見

- ・生活習慣病やがんになる可能性が高い人を見つけることで、生活習慣の改善やリスクの低減が期待できる。
- ・早期発見、早期治療により、重症化予防が期待できる。

2. 健康診断のメリット

治療の効果向上

生活の質の向上

重症化の防止と医療費の削減

3. がんの早期発見のための検査

厚生労働省が推奨する5つのがん検診

「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」
(平成20年3月 厚生労働省健康局長通知、令和6年2月一部改正)

胃



50歳以上 男女
(2年に1度)

内視鏡検査か胃部X線検査
(胃部X線検査は、当分の間
年に1度、40歳以上実施可)

肺



40歳以上 男女
(年に1度)

胸部X線検査、
喀痰細胞診
(喫煙者のみ)

大腸



40歳以上 男女
(年に1度)

便潜血検査

乳房



40歳以上 女性
(2年に1度)

マンモグラフィ検査

子宮頸部

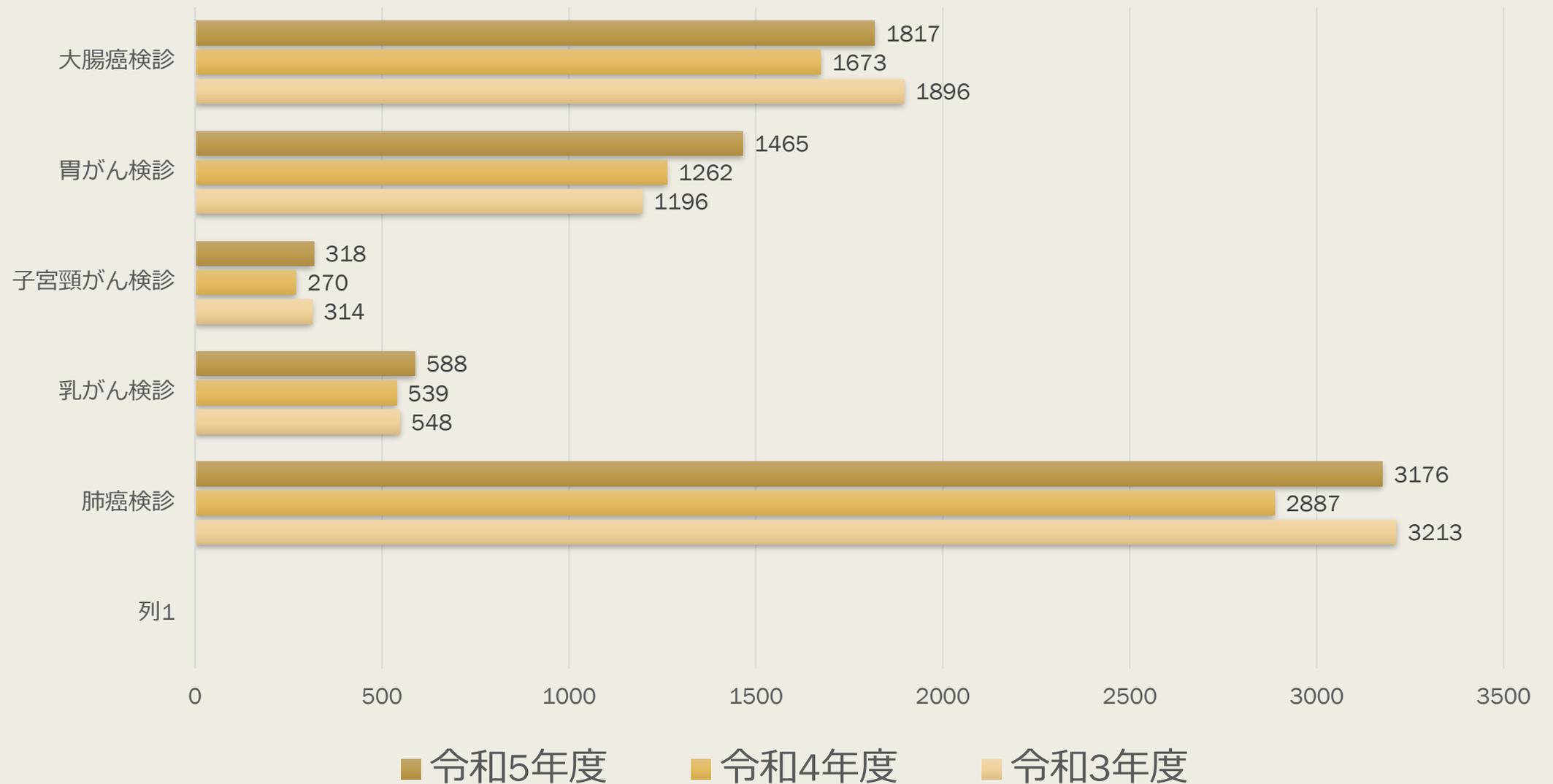


20歳以上 女性
(2年に1度)

細胞診、
HPV検査単独法*

* 2024年よりHPV検査単独法は30歳以上が対象。実施体制が整った自治体で選択可能。

5大がんの検診に相当する検査



精密検査及び治療が必要となった人の割合



1-② がん相談支援センターについて

山鹿市民医療センター

がん相談支援センター

福島 大志

がん診療連携拠点病院とは？

- **全国どこでも質の高いがん医療**を提供するため、国や県が指定する医療機関
- 専門的な**がん医療の提供**、がん診療の**地域連携協力体制の構築**、がん患者・家族に対する**相談支援及び情報提供**等を行う
- 熊本県内のがん診療連携拠点病院：21か所
(国指定：7 県指定：14)
- 小児がん拠点病院：全国15か所
- がんゲノム医療（中核拠点・拠点・連携）病院：全国256か所

熊本県のがん診療連携拠点病院

都道府県 がん診療連携拠点病院

- 1 [熊本大学病院](#)

国指定 地域がん診療連携拠点病院

- 1 [熊本労災病院](#)
- 2 [人吉医療センター](#)
- 3 [熊本赤十字病院](#)
- 4 [熊本医療センター](#)
- 5 [済生会熊本病院](#)
- 6 [荒尾市立有明医療センタ](#)

二



熊本県指定 がん診療連携拠点病院

- 1 [熊本中央病院](#)
- 2 [熊本再春医療センター](#)
- 3 [熊本総合病院](#)
- 4 [水俣市立
総合医療センター](#)
- 5 [天草地域医療センター](#)
- 6 [天草中央総合病院](#)
- 7 [熊本地域医療センター](#)
- 8 [くまもと森都総合病院](#)
- 9 [大腸肛門病センター
高野病院](#)
- 10 [山鹿市民医療センター](#)
- 11 [熊本南病院](#)
- 12 [阿蘇医療センター](#)
- 13 [熊本市民病院](#)
- 14 [くまもと県北病院](#)

令和3年6月現在

がん相談支援センターとは

がん相談支援センターとは？

- 全国 全てののがん診療連携拠点病院に設置されているがんの相談窓口
- 患者さんやご家族だけではなく、どなたでも利用できる
- 相談は無料
- 匿名での相談も可能
- 秘密厳守

がん相談支援センター

がん相談支援センター
～患者様・ご家族を支えます～

治療のこと
病院のこと
生活のこと
治療費のこと
心のこと
セカンドオピニオンのこと
がんサロン等のこと
仕事のこと
相談無料
秘密厳守

©2010 熊本県くまモン
熊本県がん相談機能向上事業

【お問い合わせ・相談受付】

電話：0968-44-2185

受付時間：月曜から金曜 8:30～17:30（祝祭日除く）

場所：Bブロック14番（産婦人科診察室横）

I-③ 積極的な がんリハビリ

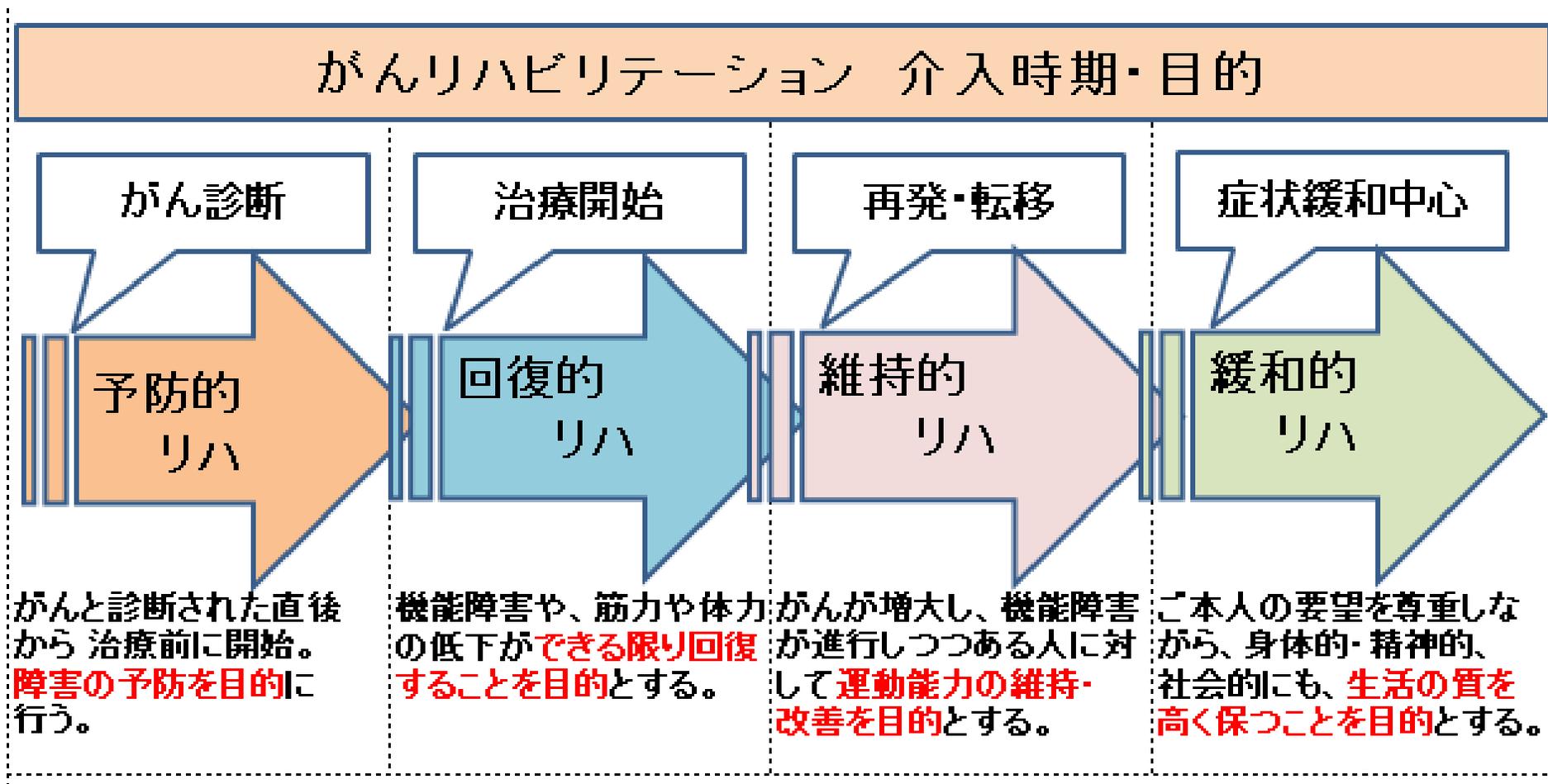
山鹿市民医療センター リハビリテーション科

理学療法士 上野高弘

がんリハビリとは？

がんのリハビリテーションとは、「がん患者の生活機能の生活の質(QOL: Quality of Life)の改善を目的とする医療ケアであり、がんとその治療による制限を受けた中で、患者に最大限の身体的、社会的、心理的、職業的活動を実現させること」と定義されています。

がんリハビリテーションの4つの段階



※どのような時期であっても、どんな病状や状況であってもがんリハビリを受けることができます。

がん診療連携拠点病院・チーム医療・がんリハ研修

- 当院は、がん診療連携拠点病院の指定を受けております。
患者様が安心してリハビリテーションを受けられるための、基準を満たす訓練室・機器があり、スタッフは知識・技術の習得に務めております。
- リハビリテーションは、医師、看護師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー等、多職種でカンファレンスなどを通じ、十分に情報を共有してチームとして対応しています。
- 当院には、日本理学療法士協会が推薦する「がんリハ研修」を受けた医師、看護師、理学療法士・作業療法士が常勤しています。

山鹿市民医療センター 第7回 市民公開講座

II. 胆道がん、膵がんを知ろう

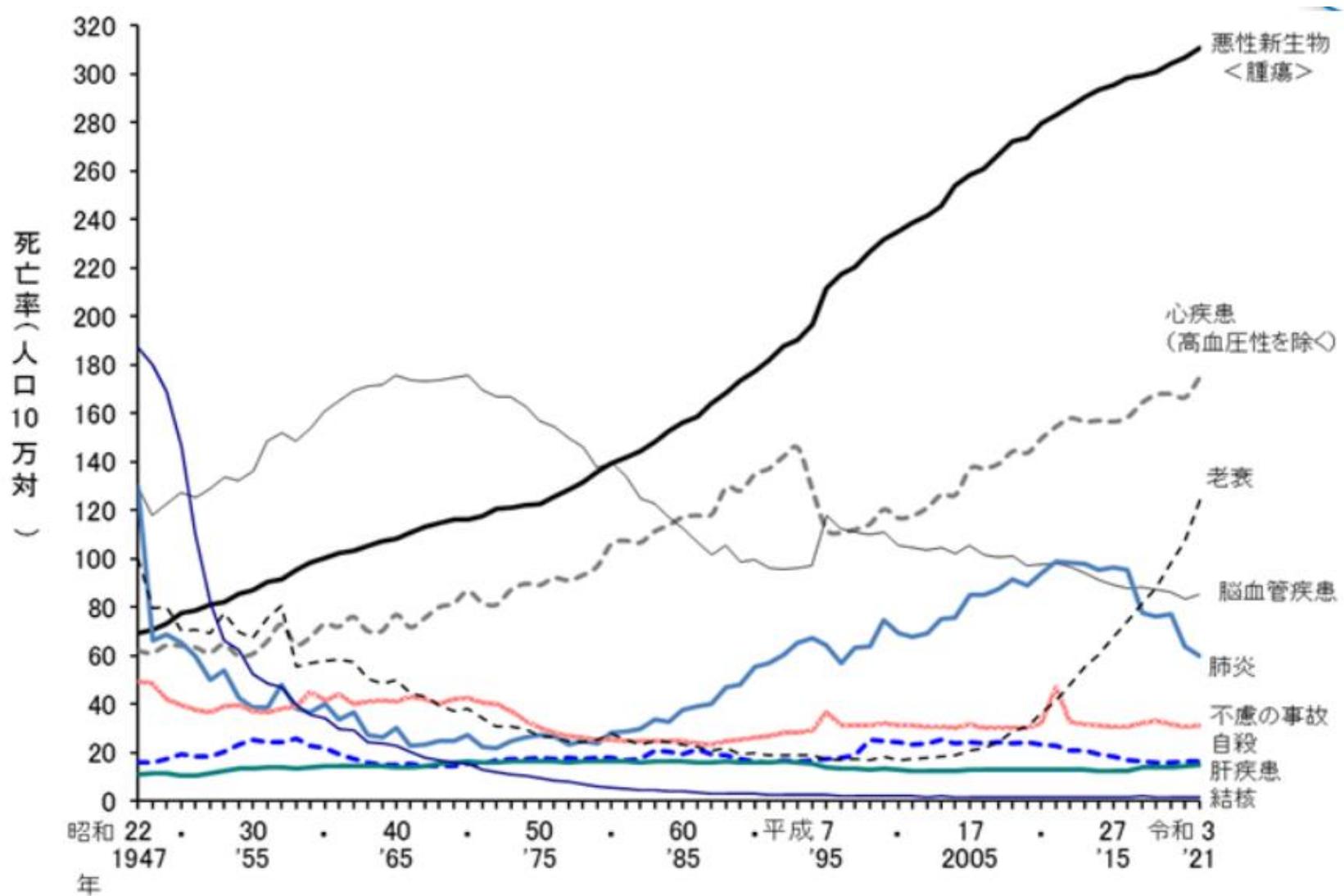
疫学、予防、早期発見まで

山鹿市民医療センター 院長

石河 隆敏



日本における死亡原因の推移



引用:「厚生労働省令和3年(2021)人口動態統計月報年計(概数)の概況」より

がん死亡数の順位(2022年)

	1位	2位	3位	4位	5位
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

胆道がんの発症に関連するもの

- 慢性炎症に関連するもの
 - 胆嚢炎
 - 原発性硬化性胆管炎
 - 肝内結石、ウィルス性肝炎、肝吸虫
- 先天的な異常に関連するもの
 - 先天性胆道拡張症
 - 膵胆管合流異常
- 化学物質
 - ジクロロプロパン(塩素系有機洗剤の主成分)
 - ジクロロメタン

膵がんの発症に関連するもの

リスクファクター

- 肥満
- 嗜好：喫煙、大量飲酒
- 合併疾患：
 - 糖尿病、慢性膵炎
 - 遺伝性膵炎、膵管内乳頭粘液性腫瘍、膵嚢胞
- 家族歴：膵癌（第一度近親者に2人以上の膵癌患者）、遺伝性疾患（遺伝性膵炎、Lynch 症候群、Peutz-Jeghers 症候群等）

膵がん・胆道がんの予防

- 膵がん、胆道がんともにその原因がすべてわかっているわけではない
- つまり、確実な予防策がない
 - できることとしては普段の生活でリスクを下げること
- 肥満の予防
- 禁煙
- 適量範囲内の飲酒
 - 生活習慣の調整（適度な運動、睡眠、ストレス管理等）
 - ◎ 関連する疾患の定期受診、治療

III-① 内視鏡診断と治療

山鹿市民医療センター
消化器内科 本原 利彦

内視鏡検査までの流れ

『おなかが痛い』、『食欲が落ちて、体重が減った』、『目や皮膚が黄色い』



医療機関を受診し、血液検査で肝障害がある、
腹部エコーで胆管拡張や膵臓に腫瘍がある



消化器専門医を受診

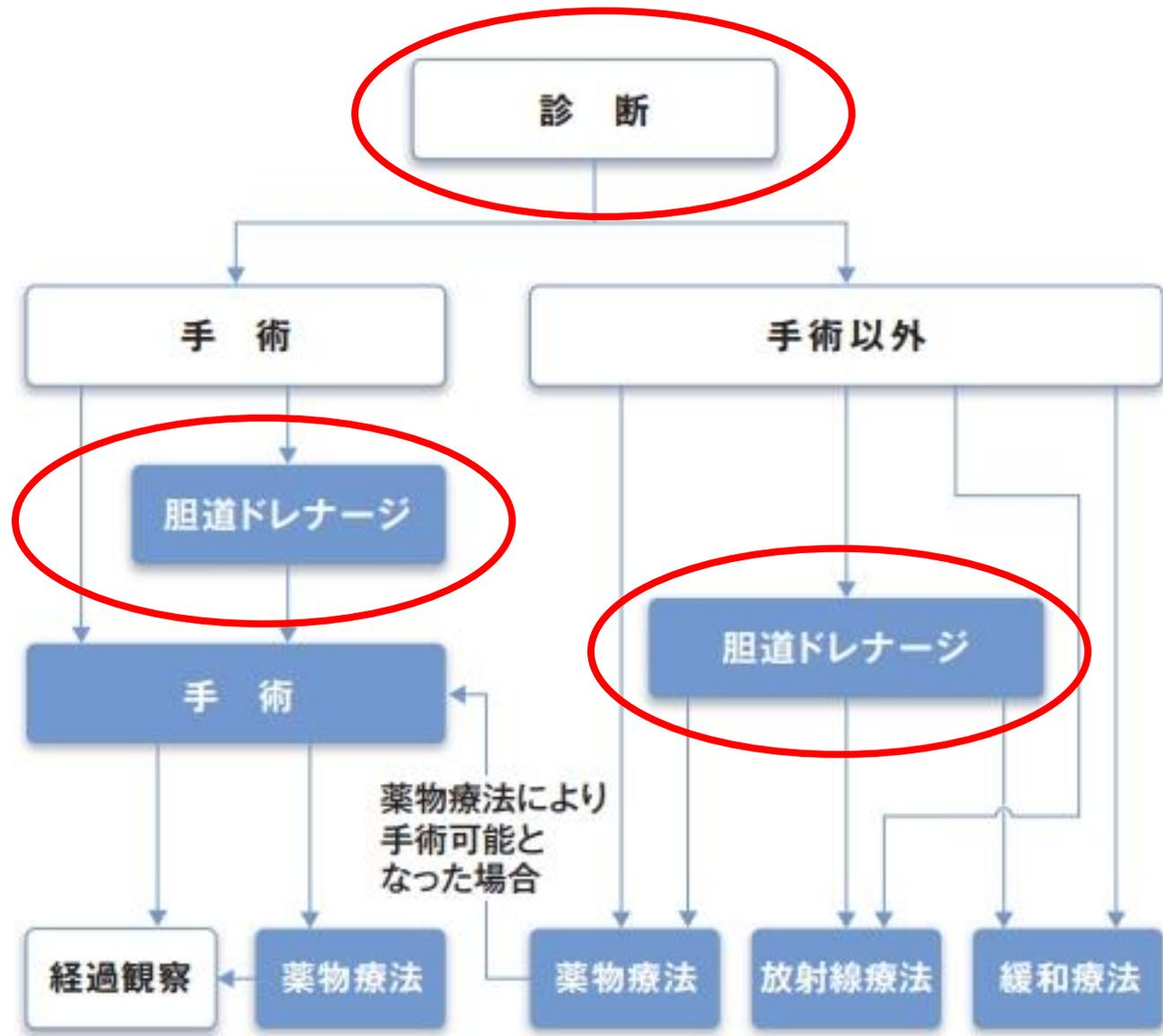
検診USで、胆管拡張、
膵管拡張を指摘



CT、MRIで精査し、胆道や膵臓に腫瘍が疑われる



内視鏡で精査



日本肝胆膵外科学会 胆道癌診療ガイドライン作成委員会編、
「エビデンスに基づいた胆道癌診療ガイドライン 2019年(改訂第3版)」(医学図書版)より改訂

内視鏡的逆行性胆道膵管造影（ERCP）

内視鏡を口から入れて食道、胃を通り十二指腸まで進ませて胆管や膵管に造影剤を直接注入して観察する検査。

この検査中にがんが発見または疑われた場合にはそのまま、生検、細胞診に進むことが可能なため最終的な精密検査として位置付けされている。また、ドレナージを追加することもできる。

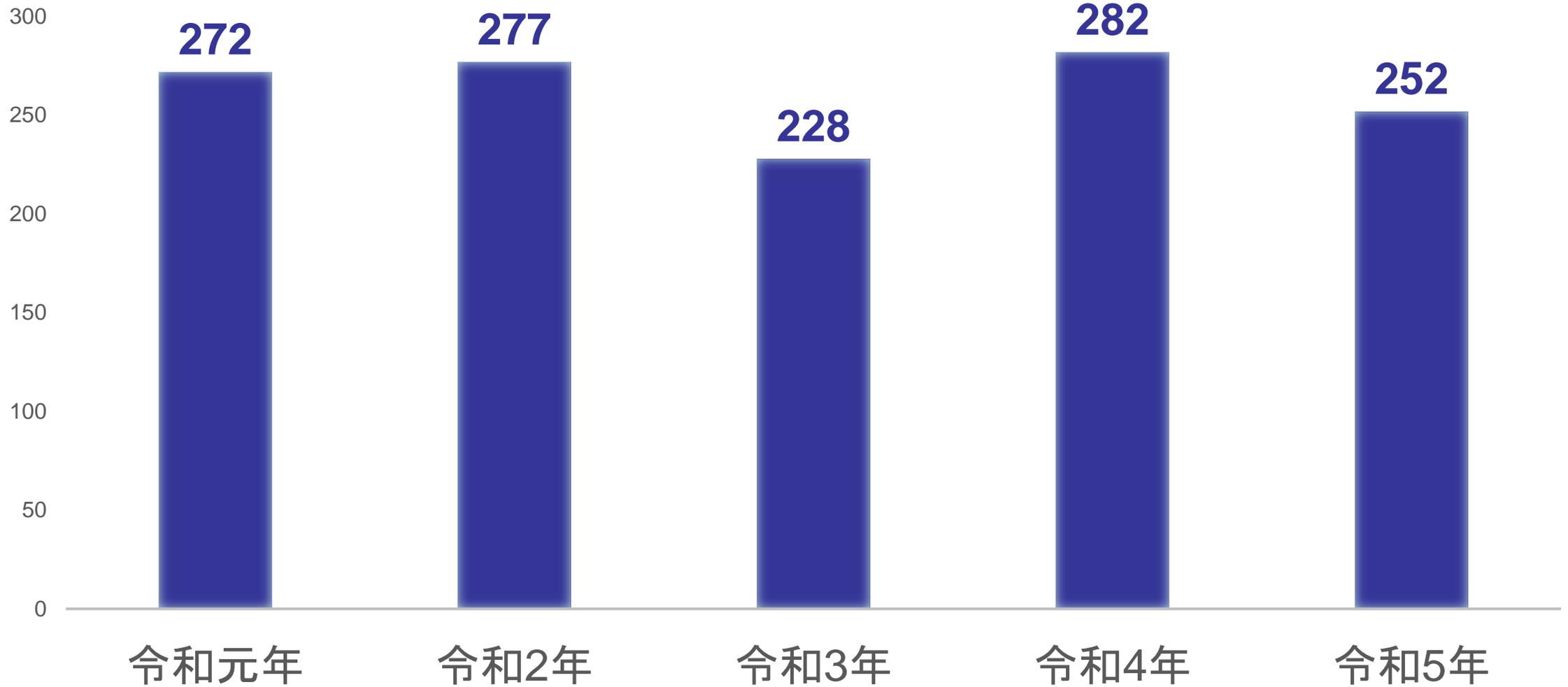
【可能性のある病気】

胆道がん、膵臓がん、胆石症、胆管狭窄、膵管拡張など

【合併症】

急性膵炎、胆管炎、消化管穿孔

当院のERCP件数



超音波内視鏡

(EUS: Endoscopic UltraSonography)

超音波内視鏡下穿刺吸引法

(EUS-FNA: Endoscopic UltraSound-guided Fine Needle Aspiration)

先端に小さいエコーが付いている内視鏡を口から入れて、胃や腸など消化管から病変を観察できるため、より精密な情報がわかる。

また、周囲の状況を把握して針を刺して細胞を採取、生検を行う事もできる。

【可能性のある病気】

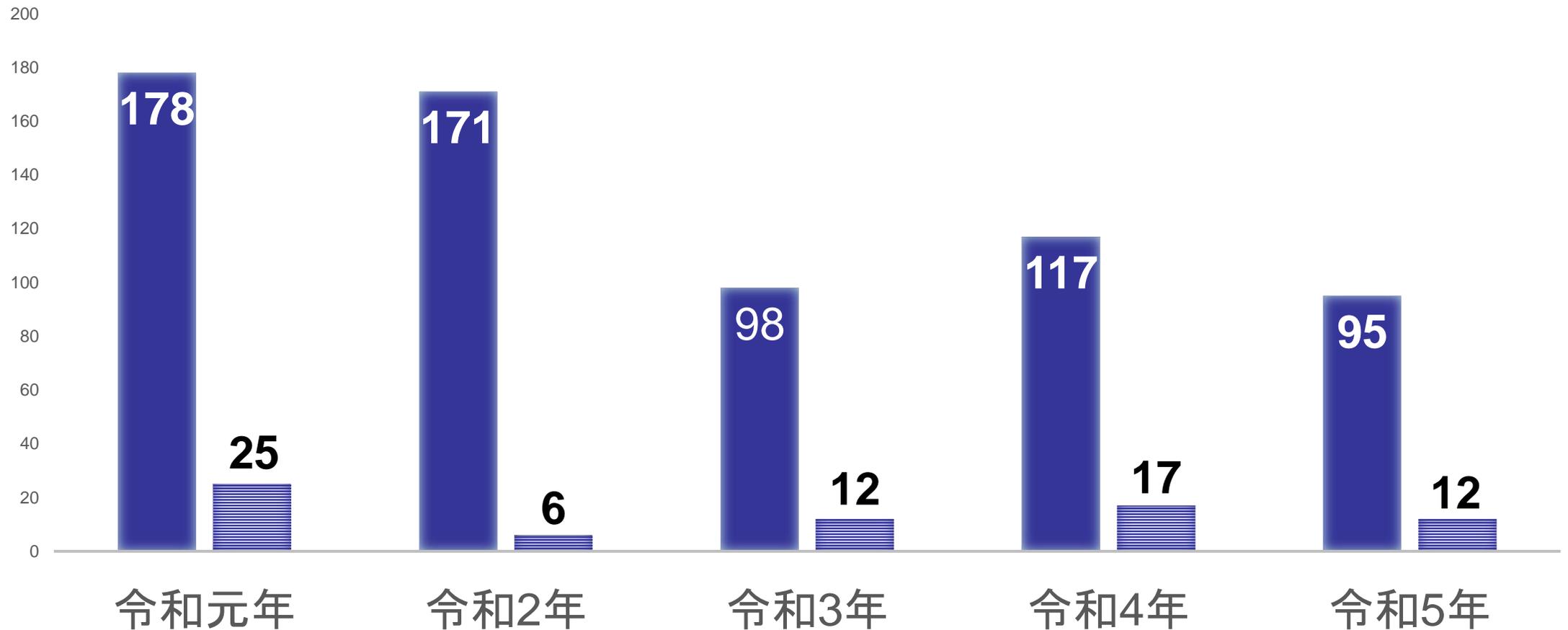
胆石症、胆嚢ポリープ、胆道がん、膵臓がんなど

【合併症】

出血、消化管穿孔

当院のEUS、EUS-FNA件数

■ EUS ■ EUS-FNA



本日のメッセージ

- 胆道がん、膵臓がんは内視鏡で根治できることはほとんどない。
- 胆道がんはERCP、膵臓がんはEUS、EUS-FNAが有用。
- 胆道がん、膵臓がんの内視鏡の役割は正確な診断と、治療を受けることができるよう適切なドレナージで閉塞性黄疸を改善することにある。

III-② 胆道がん・膵がんの外科治療

山鹿市民医療センター

外科

増田稔郎

がんの治療について

標準治療

最先端治療

最新治療

先進医療

臨床試験

治験

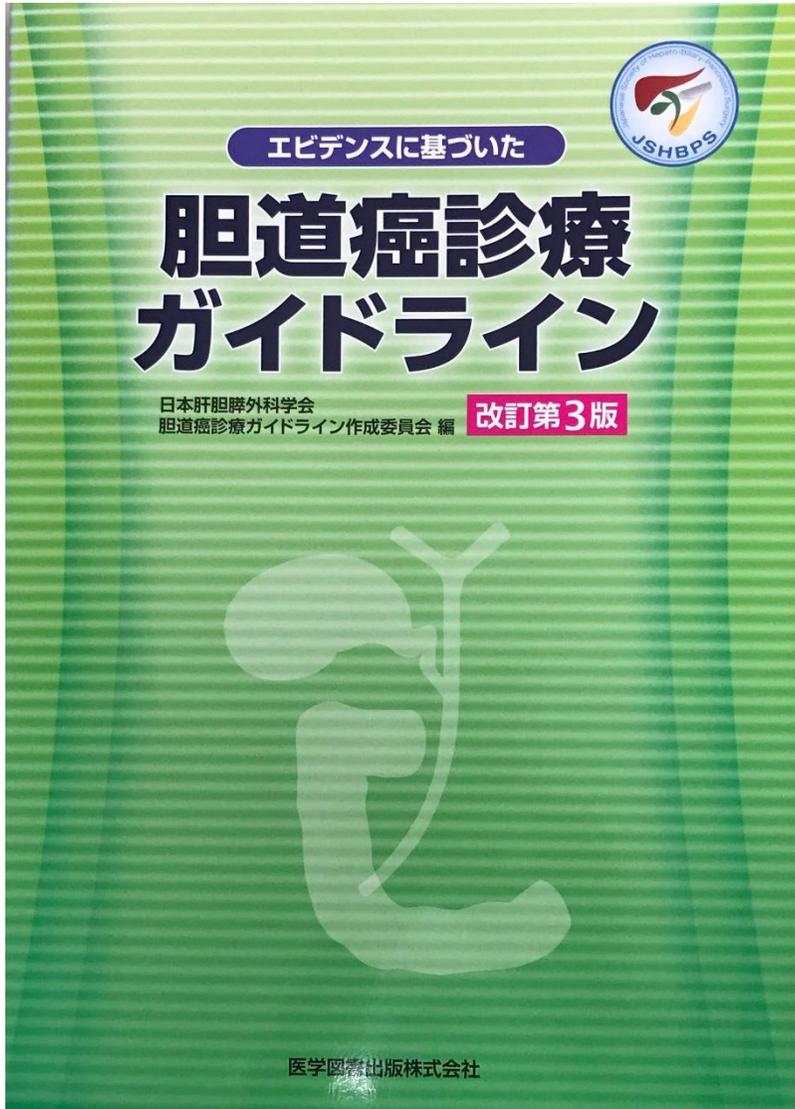
自由診療

健康食品、サプリメント

健康を促進する民間療法

がん治療はしない方が良い

胆道がんの標準治療



切除できる胆道がん

手術を行って切除

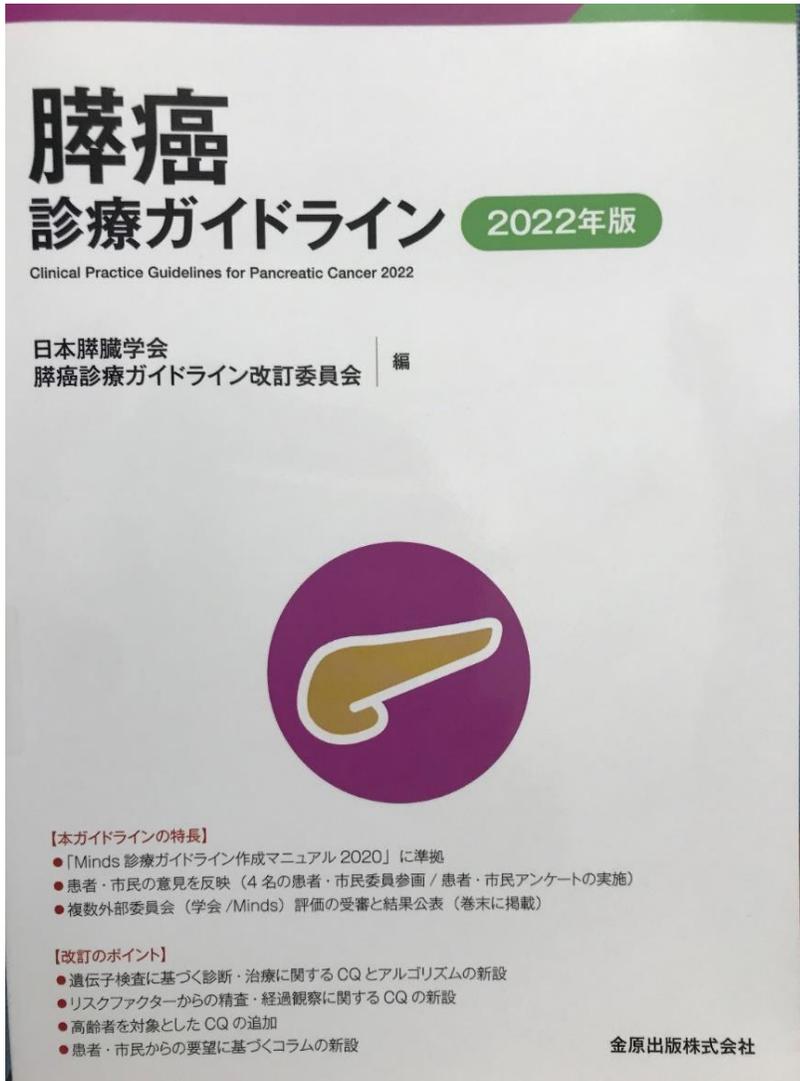
切除できない場合は

抗がん剤

放射線療法

抗がん剤＋放射線療法 など

膵臓がんの標準治療



切除できる膵臓がん

手術を行って切除

＋術前や術後に抗がん剤

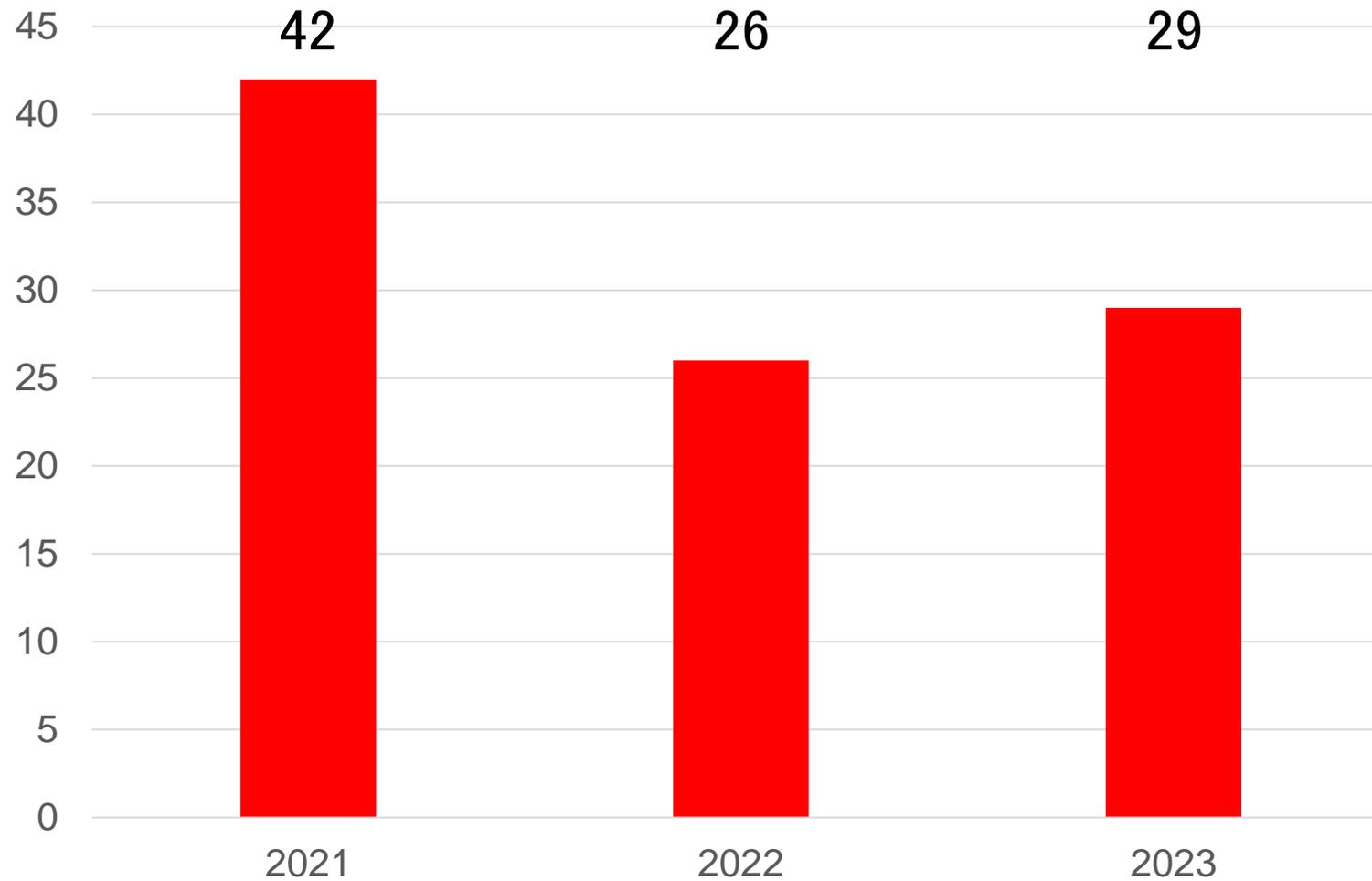
切除できない場合は

抗がん剤

放射線療法

抗がん剤＋放射線療法 など

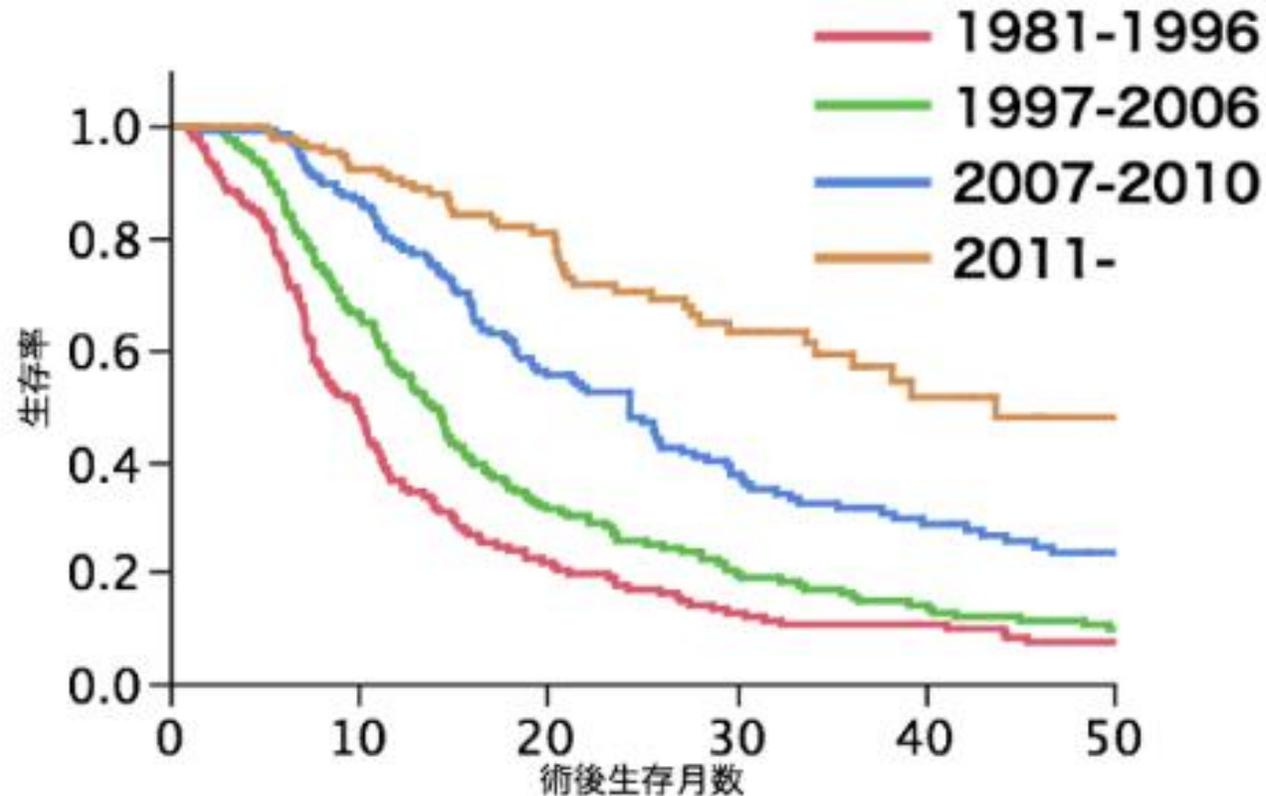
私の前任地 熊本地域医療センターの膵臓手術



膵がん切除例の予後は改善しています

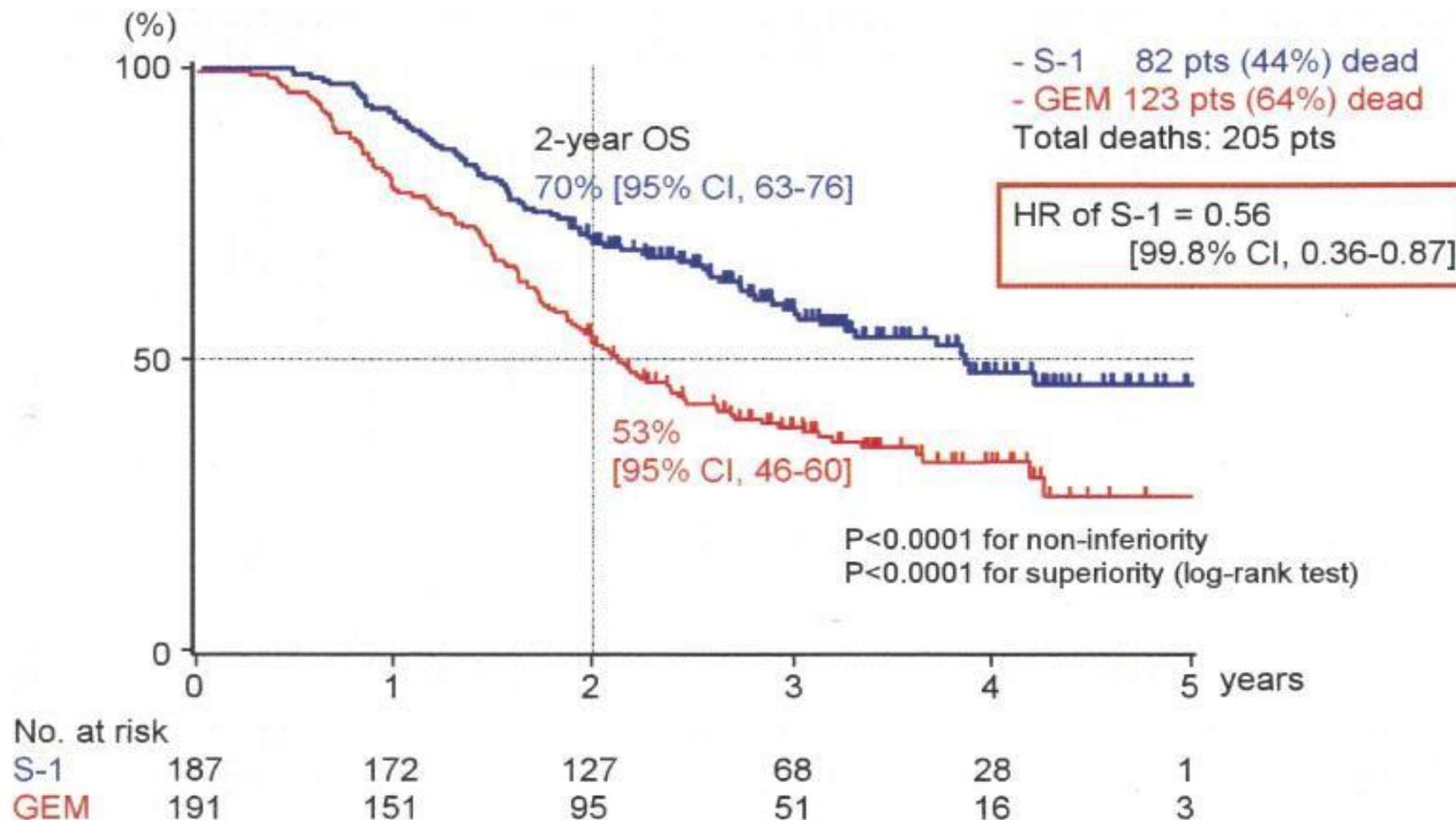
—早期発見、手術の安定、抗がん剤治療の進歩—

名古屋大学消化器外科学における膵癌切除後の生存率



膵がん切除例の予後は改善しています

-術後の抗がん剤治療の進歩-



まとめ

- 「標準治療」が最も推奨されるがんの治療です。
- 切除が可能な胆道がん・膵がんの治療は、手術（＋抗がん剤）が第一選択です。
- 山鹿市民医療センターでは、胆道がん・膵がんの手術、抗がん剤治療を行っています。

山鹿でできる胆道がん・膵がんの診療と治療

III-③ 最新の薬物療法

熊本大学病院消化器内科 助教
山鹿市民医療センター 腫瘍内科科長

宮本英明

抗がん剤の種類

New



- 殺細胞薬



- 分子標的薬

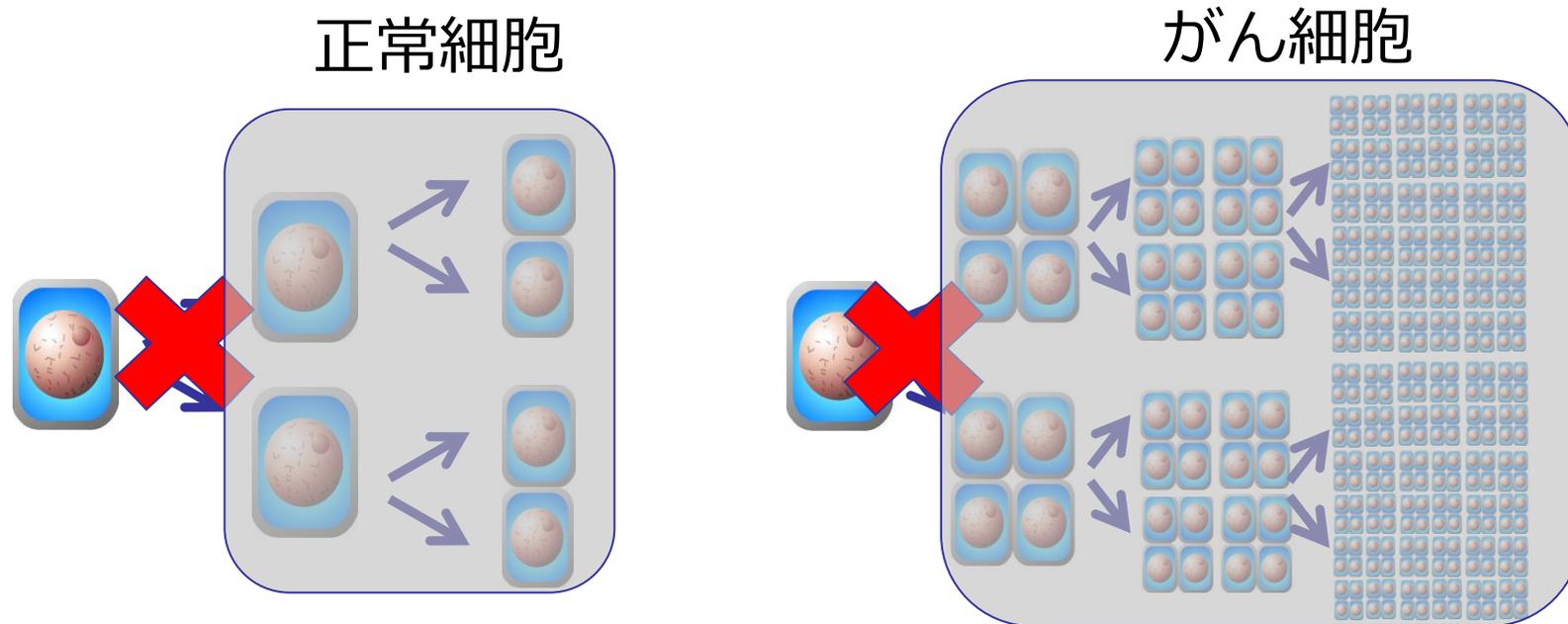


- 免疫チェックポイント阻害薬
(保険診療可能な免疫療法)



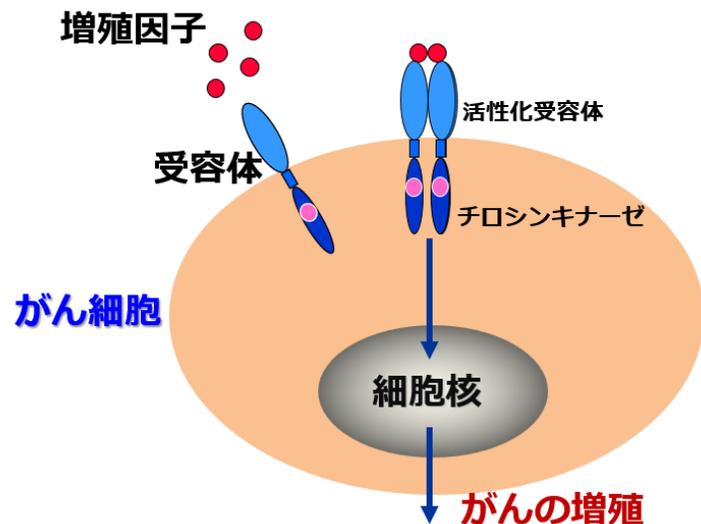
殺細胞薬は細胞分裂を阻害する

がん細胞の方が“細胞分裂”が盛ん



- 殺細胞薬を投与すると、がん細胞の方が強くダメージを受ける
- 正常細胞もダメージを受ける = 副作用がでる

分子標的薬は「ピンポイント爆撃」



がん細胞の分子を
狙い撃ち！

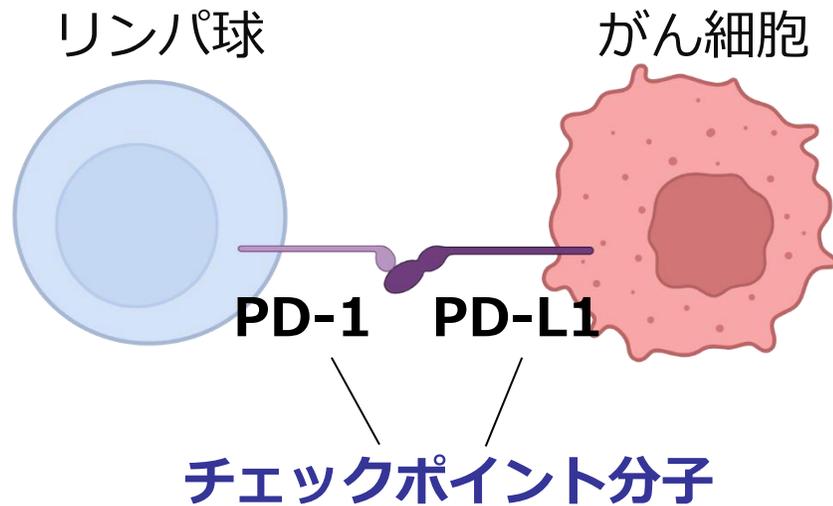


正常細胞のダメージが
少ない
(副作用が少ない)

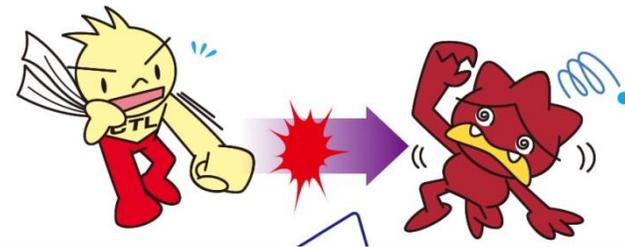
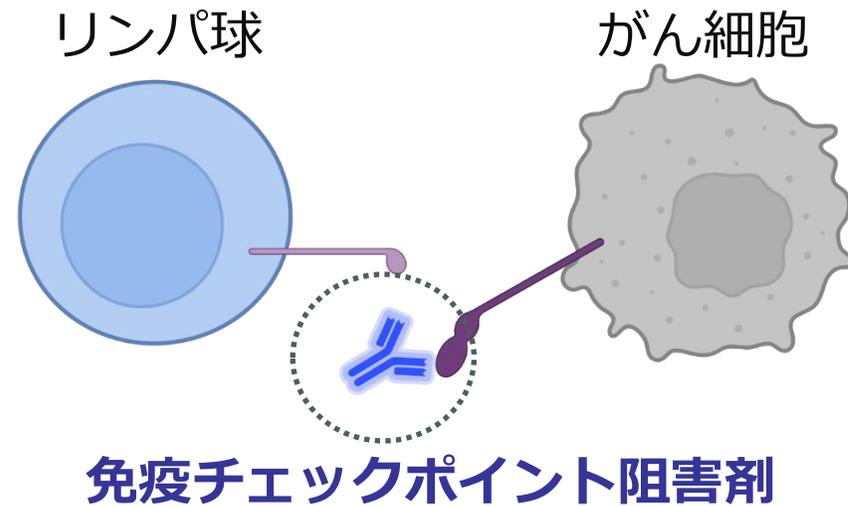


免疫療法チェックポイント阻害剤とは？

がん細胞が
チェックポイント分子で
免疫にブレーキをかける



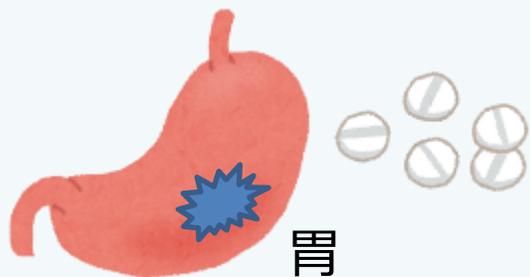
免疫チェックポイント阻害剤
でブレーキを解除する



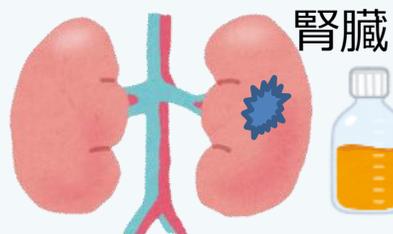
がんゲノム検査とは？

がん患者さん一人ひとりの「**がんの遺伝子**」の情報を調べ、
治療の最適化・予後予測・発症予防を行う

これまでの治療



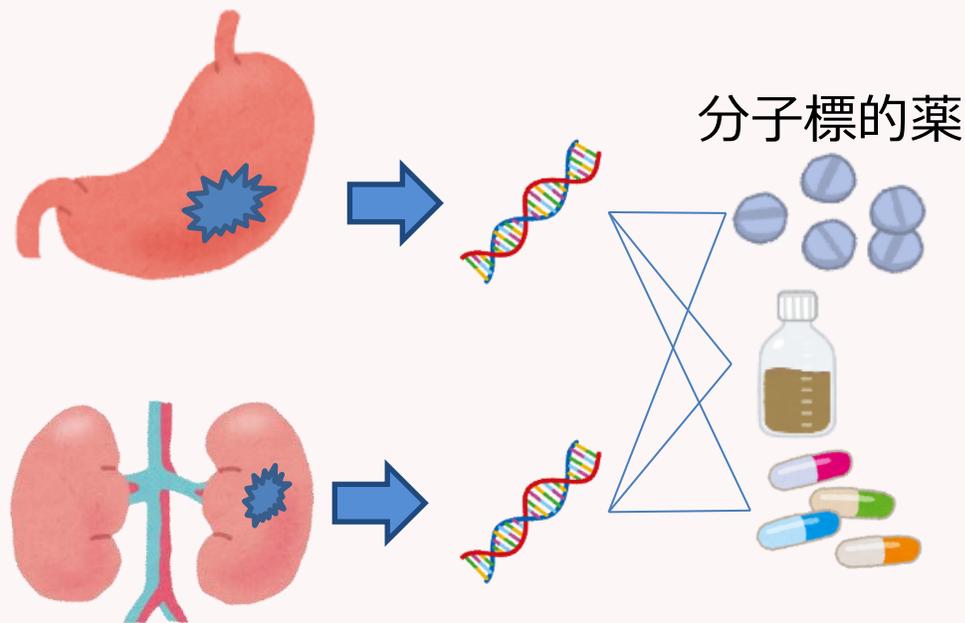
胃



腎臓

臓器に応じた抗がん剤の使用

これからのがんゲノム医療



分子標的薬

遺伝子の変異に応じた治療薬の使用



山鹿でできる胆道がん・膵がんの診断と治療

本日のまとめ

山鹿市民医療センター
病院事業管理者

別府 透



本日のまとめ-1

- 治りにくいがんです(がん死亡原因の上位)。
- 予防には生活習慣に気をつけましょう！
(禁煙、節酒、肥満や糖尿病の予防、など)
- 早期発見には、検診と精密検査を！
- がんに関する相談は、がん相談支援センターに！
- 当院はがん診療連携拠点病院です。
⇒ 診断・治療、がんリハ、緩和ケア、等が幅広く可能です。



本日のまとめ-2

- 内視鏡と内視鏡エコーは、診断や閉塞性黄疸のドレナージに有用です。
- 切除可能例の標準治療は、手術(+抗がん剤治療)です。
- 「新規薬物療法」や「がんゲノム検査にもとづいた薬物療法」が導入されています。
- 診断や治療法の進歩により、予後は改善しつつあります。

これらの治療のほとんどが山鹿市民医療センターで出来るようになりました。